





審査結果報告書

2020年8月27日

主査 氏名 岡本浩嗣 

副査 氏名 三根信 

副査 氏名 阿内康雄 

副査 氏名 阿古圭祐 

1. 申請者氏名 榊 健司朗

2. 論文テーマ : 人工心肺中の局所酸素飽和度と術後人工心肺関連急性腎障害との関連性

3. 論文審査結果 : 申請者は人工心肺関連腎障害 (CPB-AKI) と、人工心肺中の局所酸素飽和度 (rSO_2) との関連性について成人開心術 150 例の連続症例に於いて検討を行った。 rSO_2 は前額部、腹部、大腿部で測定し、CPB-AKI 判定には RIFLE 分類を使用した。結果、CPB-AKI の発症率は術直後で 2.7%、術後 24 時間後で 12.7%であった。また、単変量解析で年齢、大動脈遮断時間、術前の腹部 rSO_2 、CPB 中の大腿部 rSO_2 、に CPB-AKI との関連性が見られた。一方多変量解析では CPB 中の大腿部 rSO_2 、酸素運搬量、CPB 終了時の好中球数が CPB-AKI 発症の独立危険因子であった。ROC 解析における CPB-AKI 発症となる大腿部 rSO_2 のカットオフ値は 67%以下であった。結論として、大腿部で測定した局所組織酸素飽和度である rSO_2 の測定は成人開心術の CPB-AKI 発症の予測因子となることが示唆された。以上のように新たなパラメータの有用性を示した申請者の研究は、臨床的な観点からも非常に価値が高く、それをまとめた本論文も大変優れており学位論文として相応しいものである。加えて、審査の場においても適切な研究の呈示と回答が得られたため、審査員全員の合意の上で申請者の学位審査は合格と判断した。